

平成 28 年度末下水道革新的技術実証事業評価委員会の結果について

- 中大口径管路等を対象とした無人小型飛行体による腐食調査技術の実用化に関する研究
(日水コン・ブルーイノベーション・横浜国立大学・横浜市 共同研究体)

下水管路内でのドローンの安定的な飛行と腐食状況の把握をする予備調査であるが、現在の状況では1年目で達成する予定であった目標のうち一部の成果しか達成できておらず、また、要素技術での評価となっている。継続にあたって、多くの課題があると考えられるが、技術の進歩が著しい分野であるため、次年度1年間で達成すべき目標を明確化したうえで、総合的な技術として確立することを期待して継続することが妥当と判断する。